デロイト トーマツの人

テーマからインタビューを探す

プロフェッショナルたちは、なぜデロイト トーマツを選んだのか。
仕事内容、働く環境、目指すキャリアなど、デロイト トーマツで働くプロフェッショナルたちの声をお伝えします。

成長実感

すべての経験が線になってつながる仕事

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
パートナー

ガバナンス領域／海外勤務／グローバル連携／キャリアパス／成長実感

日々、自分が社会に与えるインパクトを実感

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
マネジャー

新卒入社／チャレンジできる環境／成長実感

日本が抱える事業承継問題にイノベーションを起こす

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社
シニア ヴァイス プレジデント

M&A・事業承継プラットフォーム事業／成長実感

採用ページへ戻る

すべての経験が線になってつながる仕事

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
コンシューマー・マニュファクチャリング・TMT　パートナー〈2004年12月入社〉
ガバナンス領域／海外勤務／グローバル連携／キャリアパス／成長実感

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.コンシューマー・マニュファクチャリング・TMTの仕事内容について教えてください。

A. コンシューマー・マニュファクチャリング・TMTは、「コンシューマー・マニュファクチュアリング/テクノロジー・メディア・通信」に特化したインダストリー事業部のユニットで、私は主にグローバル企業の海外拠点における管理体制や内部統制など、ガバナンス領域の強化支援を担当しています。
海外、とくに新興国における子会社では、日本との文化の違いやコミュニケーションの問題から業務がうまく回らないことがあります。
そうした際にお客様の海外子会社に対して、私たちがチームを組み、ルール決めやモニタリングをできる仕組み作りのお手伝いをすることで、業務が滞りなく進むようにサポートしています。経済成長によって海外拠点の重要性が増す一方で、オペレーションが追いついていないという悩みを抱えている企業は少なくありません。
ですから、私たちのようなアドバイザリーの仕事は、今後も伸びていく分野だと感じています。

Q.トーマツで働くことの魅力はどんなところですか？

A. 私はトーマツに入社後、大阪で会計監査、東京でM&Aのアドバイザリー、1年半の証券会社出向、4年間のインドネシア・ジャカルタ事務所駐在を経験したあと、さまざまな経験や人とのネットワークを活かした仕事をしたいと思い、今のユニットへの希望をだしました。
トーマツでは基本的に本人の希望が最大限に尊重されます。私のようにさまざまな場所で多様な経験を積みたいと思えばそれも可能ですし、仕事をしながら英語の勉強をするのに限界を感じて、1か月間の休みをもらい、語学留学に行ったこともあります。
もちろん反対に1つの場所で、専門性を高めたいという働き方も可能です。こうした本人の希望を尊重する働き方は、まさにトーマツにいたからこそできたことだと思います。トーマツは組織がフラットで、年齢やポジションにかかわらず意見を言い合える風土がありますし、取り組んでみたい仕事や、目標にしていることを言えば、それをサポートしてくれる制度も、実行できる規模もあります。こうした点がトーマツの魅力ではないでしょうか。

Q.トーマツに入社して、成長できたと感じている点を教えてください。

A. 今のユニットでは、これまでトーマツで身につけたすべての経験が活かされていますが、なかでもジャカルタで文化の違う人たちと一緒に仕事したことは、非常に役立っています。日本であれば、仕事が終わるまで遅くまで働く人も珍しくありませんが、海外では時間がくれば帰るのが当たり前という人もいます。ただ、日本のやり方を押しつけるのではなく、その国の文化を理解して、現場で働く人の顔を見た上で仕事を進めないと、何事もうまくいきません。
そうした肌感覚を持てたことが今の仕事につながっています。また、海外で業務を進めるにあたっては、デロイトのネットワークが必要不可欠です。
海外のトーマツで働くことでネットワークができ、信頼できる人間関係が築けたことは今の仕事で大きな助けになっています。

Q.どんな時に仕事のやりがいを感じますか？

A.「財務報告及び関連する内部統制等を第三者の立場から見る」監査と比べ、リスクアドバイザリーは「クライアントの立場に立ちながら、外部のプロフェッショナルとしてアドバイスを行う」側面が大きいと言えます。自分たちだけでは解決できない課題だからこそ、お客様は私たちに価値を見いだし、依頼してくださっているわけですから、そこでしっかりと成果をだし、海外の拠点がしっかりと動き出すことは大きなやりがいのひとつです。
一方で、非常にハードルの高い課題を任されますから、当然、簡単なプロジェクトはひとつもありません。お客様や国内のチームはもちろん、海外ともしっかり連携していかなければいけませんし、常に専門家として知識をアップデートしていく必要があります。だからこそ、お客様から感謝の言葉をかけていただいたときは、本当に嬉しいものです。 今はアジア中心の仕事が多いのですが、今後は欧米も含めてお客様をサポートしていきたいですね。

一覧へ戻る　採用ページへ戻る

日々、自分が社会に与えるインパクトを実感

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
Civil Government　マネジャー
新卒入社
チャレンジできる環境／成長実感

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q.就職の際、コンサルタントという仕事のどのような部分に興味を持たれましたか

A. 私は新卒でデロイトトーマツコンサルティング（以下、DTC）に入社をしました。就職活動の際には、日本社会に影響を強く与えられるような仕事に就きたいと漠然と考えていました。大学生活の中では「働く」ということすら明確に理解できない中、自分のやりたいことも明確に定まっていない状況で、迷いながら就職先を模索していたことを記憶しています。業界研究をする中でどの業界も社会に何らかの形で影響を及ぼしており、魅力的に見えていました。そんな中、経営コンサルティングに就職した先輩から話を聞く機会があり、この業界に興味を持ち始めました。
話を聞いていくうちに、社会にインパクトを与える業界に就くのが大事なのではなく、社会にインパクトを与える人になることも重要であると思うに至り、自己成長と自己実現の双方が出来るコンサルティング業界を志すに至りました。

Q.DTCに入って、どのような自己成長や自己実現ができましたか？

A. 私は現在DTCで、官公庁のサービスを主に行っております。DTCのクライアントは業界でも一流の企業・組織が中心となっており、更に重要な意思決定に関与している方がカウンターパートとなっていることが多いです。
このようなクライアントと仕事をすることを通じて、自分の仕事が直接的に社会に対して影響を及ぼしていると感じることができ、日々充実感をもって働くことができています。
また、重要な意思決定に際しては、DTCの様々なエキスパートと協業しながら、熟慮に熟慮を重ねて最善と思われる提案をしていきます。エキスパートと質の高い仕事をするためには、当然自分自身も相応の人間になる他なく、日夜勉強を行いながら業務にあたっていました。仕事をこなしながら勉強もしていくことが辛い時もありましたが、気が付く頃には、自分も人に誇れる専門知見と経験を身に着けるに至っていました。

Q.DTCの職場環境やカルチャーについて教えてください

A. DTCには、学び合いの文化とチャレンジの文化があると感じています。
チームメンバーへのナレッジシェアが頻繁に行われおり、それが知識集団を形成しているのではと思っています。自分自身、同僚と勉強会を企画することもありますし、その中で参加者から質問や関連知見を紹介してもらうことで企画者である自分の知見も深まっています。
また、チャレンジの文化については、自分の幅を広げる機会が積極的に紹介され、その機会に当たっていく中で自分の幅が広がっていくことを感じています。

Q.コンサルティングファームへの転職を検討されている方にアドバイスおよびメッセージをお願いします。

A. DTCには最高の環境があると思います。
成長の機会に溢れているだけでなく、仕事を通じて日々社会に対するインパクトを与えている実感があります。そのような日々が、今この世に生きているのだ、と感じさせてくれます。
是非共に成長する日々を歩むことができれば幸いです。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

日本が抱える事業承継問題にイノベーションを起こす

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社
【イノベーションビジネス】FAプラットフォーム　シニアマネジャー　〈2018年2月入社〉
M&A・事業承継プラットフォーム事業／成長実感

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q.FAプラットフォームの仕事内容について教えてください。

A. FAプラットフォームは2018年6月にできた新しいユニットで、私は「M&Aプラス」と「デロイト トーマツ アカデミー」という事業の全体的なマネジメントを行っています。

M&Aプラスは、事業承継に悩む中堅・中小企業とFA（ファイナンシャルアドバイザー）をWeb上のプラットフォームでマッチングする新しいサービスです。現在、順調に会員数が増えており、士業や金融機関、M&A専門会社など全国500社以上のFA会員が利用している状況で、毎月のように成果も出てきております。
私たちはこのプラットフォームを運営しており、具体的にはWEBサイトやシステムの改善、新規FAの勧誘、既存会員のサポートなどを日々の業務として行っております。

デロイト トーマツ アカデミーは、外部のFAや企業の方にM&Aのナレッジを提供するサービスです。現在、日本には中小企業が約390万社あり、そのうちの約半分が事業承継を考えている一方で、サポートが可能なアドバイザーは、質・量ともに十分な水準ではなく、今後もFAの不足が予想されます。一方で、ビッグクライアントにおいてはM&Aやクライシスマネジメントは一般化しつつあり、今後は企業内の戦略を推進できる人材も必要になってくるでしょう。そのためのナレッジやノウハウを提供するのがデロイト トーマツ アカデミーの目的です。現在では対面セミナーに加えて、特にeラーニングの制作に力を入れています。

2つのサービスを展開することで、中小企業から大企業まで幅広いクライアントがM&Aを円滑に行い、その成長や発展に貢献することを目指しています。

Q.DTFAを選んだ理由を教えてください。

A. 前職では全国の士業（特に会計事務所）向けに営業やコンサルの仕事を長年行ってきました。そういった自分の強みを活かしつつ、喫緊の大きな社会課題である中小企業の事業承継問題にも携わりたい想いもあったので、このプラットフォーム事業はまさにそれらと一致する業務内容でした。
さらに会社を選ぶ際にはM&Aなどの専門的な知見を増やしながら実務の経験も積んでいきたいと考えていまして、DTFAは各業界や専門分野のスペシャリストが多いので、そういった面にも惹かれて入社を決めました。

Q.どんな時に自身の成長を感じられていますか？

A. 私の携わるM&A・事業承継プラットフォーム事業では、運営者として様々な能力が求められます。例えば、新規会員増加のための営業やマーケティング力、既存会員であるFAや売り手買い手とのコミュニケーション能力、システム構築に関する知見、WEBサイトの分析能力、チーム運営のための計数管理能力などです。もちろんM&A自体に関する知見も必要になってきますので、日々の業務に取り組む中で自然と幅広い知識や経験が身についている実感があります。
このビジネスに関してはゼロから立ち上げていく経験も出来ているので、なにか新しい成果が出るたびに喜びと成長を感じています。
ほかにもグローバルファームとして本当に幅広い情報に触れる機会が多いので、常に新しい知見やノウハウ、考え方を取り入れることが可能です。

Q.今後の目標を教えてください。

A. M&Aは、アドバイザリーのスキルやコネクション、ノウハウで決まってしまう、いわば属人的な部分が多いのが実情です。対して、M&Aプラスは、M&Aライフサイクル全般の一連の流れを支援できるようなサービスに育てたいと思っています。どこまでをITでサポートできるかが課題ですが、M&Aプラスが標準ツールとして広く使われるようになり、全国の企業が抱えている事業承継の問題を解決するようなインパクトを残せればと考えています。

また、M&Aを円滑に行うためには、関係者が同レベルのナレッジを持ったうえで取引をしたほうがスムーズですから、デロイト トーマツ アカデミーでは、デロイト トーマツ グループが持つナレッジを全国のアドバイザーや企業に共有し、M&Aの裾野を広げていくことが目標です。

Q.DTFAに関心を持っている方へメッセージをお願いします。

A. DTFAは高い専門知識や、幅広いネットワークなど明確な"武器"持っている人にとっては、存分に力を発揮でき、それが評価される環境です。何かしら尖った武器を持っている方には是非ジョインしていただきたいです。実際に今のチームメンバーもM&Aに元々 携わっていたメンバーは少なく、金融機関やコンサル会社、税理士法人などの異業種からの転職組が多いです。

さらに言えば、ITは道具であって、道具で何を実現するかが重要だと思える人がFAプラットフォームには向いています。私たちは"システム"ではなくて"企業の課題を解決するサービス"を作ることが仕事であり、ITだけによるものではありません。ビジネス全般に広いアンテナを張って、興味を持てる方にはこの上なくやりがいのある仕事だと思います

Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

A. 実際には学生から新卒入社で急にプロフェッショナルファームに入って、すぐに社会人として働いていくのは大変なことです。そもそも求められる基礎能力やスキルが高いうえに、周りのメンバーもそれぞれがプロフェッショナルとしての強みを持ち第一線で活躍しているので、自然と業務品質や対応速度への要求も厳しくなります。
だからこそ「成長のスピード」は速くなります。ほかの企業とは一概に比べられませんが、社会人としての基礎的能力をいち早く向上させて、さらには自分の強みを磨いていきたいという方には、とても良い環境が揃っていると思います。
あとは新規ビジネスの立ち上げや、漠然とでも何かを変革していきたいといった「チャレンジ」する気持ちが強い方にもDTFAは最高の環境だとお約束します。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る